

千葉市総合評価落札方式 (業務委託) の試行方法

平成25年 4月
平成31年 1月 (修訂)

千 葉 市

目 次

	頁
1 総合評価落札方式の概要	
(1) 経緯	1
(2) 総合評価落札方式の概要	1
2 千葉市での総合評価落札方式（業務委託）試行の基本的運用	
(1) 発注から契約までの手続の流れ	2
(2) 総合評価落札方式の適用と型式	3
(3) 評価項目と配点の内容	3
(4) 落札者の決定方法	4
(5) 技術提案の評価方法の考え方	14
(6) 不履行時のペナルティ	14
3 千葉市総合評価落札方式（業務委託）様式	
(1) (簡易型・標準型)	15
(2) (特別簡易型)	25
(3) (特別簡易型【実績育成タイプ】)	32

1 総合評価落札方式の概要

(1) 経緯

わが国の厳しい財政状況等を背景に、公共投資の削減が続けられた結果、不良・不適格業者の参入や目的物の品質低下など、公共工事の品質の低下に繋がりがねない事態が懸念されています。

このような背景を踏まえ、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」（通称「品確法」）が成立し、平成17年4月1日に施行されました。

「品確法」の基本理念では、公共工事の品質は、経済性に配慮しつつ価格以外の多様な要素をも考慮し、価格及び品質が総合的に優れた内容の契約がなされることにより、確保されなければならないとされています。

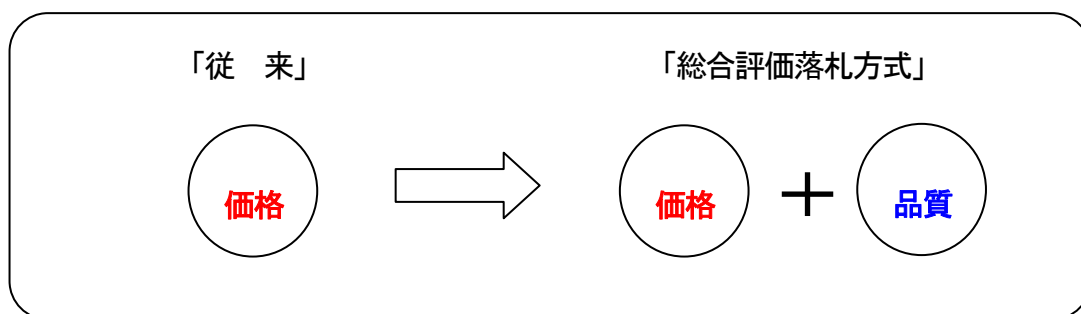
この「品確法」の基本理念を実現する方法として、「総合評価落札方式」が「公共工事の品質確保の促進に関する施策を総合的に推進するための基本的な方針について（基本方針）」（平成17年8月26日 閣議決定）に示されました。

また、この基本方針において、公共工事に係る調査・設計の品質の確保に関しても価格と品質が総合的に優れた内容の契約とすることが必要と位置付けられました。

(2) 総合評価落札方式の概要

「総合評価落札方式」とは、企業の技術力と価格の双方を総合的に評価し落札者を決定する方法です。最も安い価格で入札した企業を落札者としてきた従来の入札方式と異なり、総合評価落札方式では、より技術力の高い企業を選定されやすく、成果品質の向上、企業の技術力向上、入札談合の抑制等の効果が期待されています。

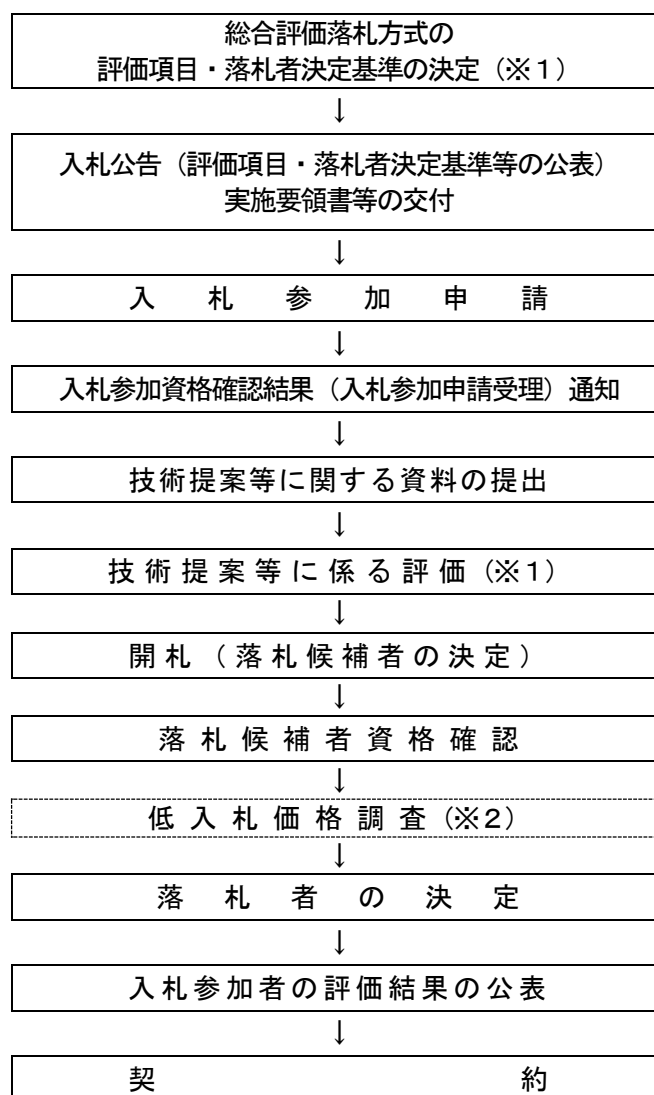
具体的には、価格が予定価格の制限の範囲内で、価格と品質を数値化した「評価値」の最も高い企業を落札者とするようになります。企業及び技術者の同種業務の実施経験、業務の実施方針や特定テーマに対する技術提案が評価の対象となります。



2 千葉市での総合評価落札方式（業務委託）試行の基本的運用

(1) 発注から契約までの手続の流れ

（一般競争入札の場合）



(※1) 地方自治法施行令に基づき、落札者決定基準を決定しようとするとき及び落札者を決定しようとするとき（落札者決定基準を決定するときに必要であると意見があった場合）において学識経験者から意見を聞くこととしています。

(※2) 落札候補者の入札価格が低入札価格調査基準価格を下回る場合に行います。

(2) 総合評価落札方式の適用と型式

総合評価落札方式は、設計金額100万円超の建設コンサルタント等の業務に適用します。

設計金額1,000万円以上の建設コンサルタント等の業務について、事前に仕様を確定可能であるが、入札者の提示する技術等によって、調達価格の差異に比して、事業の成果に相当程度の差異が生ずることが期待できる場合は、業務の特性等に応じて、次の型式を選択します。

① 簡易型（1：1）

業務の実施方針のみで、品質の向上を期待できる業務に適用します。

② 標準型（1：2又は1：3）

業務の実施方針と併せて、業務内容に応じた具体的な取り組み方法の提示を求めるテーマ（評価テーマ）を示し、評価テーマに関する技術提案を求めることによって、品質の向上を期待できる業務に適用します。

設計金額500万円以上1,000万円未満の建設コンサルタント等の業務について、技術難易度が低く、入札者の経験及び能力等によって、調達価格の差異に比して、事業の成果に相当程度の差異が生ずることが期待できる場合は、次の型式を選定します。

③ 特別簡易型（1：0.5）

企業・配置予定技術者の経験・能力及び企業の社会性・信頼性を評価することにより、品質の向上を期待できる業務に適用します。

また、設計金額100万円超500万円未満の建設コンサルタント等の業務について、技術難易度が低く、入札者の経験及び能力等によって、調達価格の差異に比して、事業の成果に相当程度の差異が生ずることが期待できる場合は、次の型式を選定します。

④ 特別簡易型【実績育成タイプ】（1：0.3）

業務実績の少ない企業に新たな業務機会を与え、また、経験の少ない技術者等の配置を促進することで、企業の技術力の向上や技術者の育成が期待できる業務に適用します。

(3) 評価項目と配点の内容

委託毎に評価項目を設定し、落札者決定基準と配点を定めます。

- ・簡易型・標準型 (表-1参照)
- ・特別簡易型 (表-2参照)
- ・特別簡易型【実績育成タイプ】 (表-3参照)

(4) 落札者の決定方法

- ① 価格評価点は、予定価格に対する入札価格（消費税及び地方消費税を除く。以下同じ。）の応札率を1から減じた数値に配分点を乗じて算出した数値とします（少数点以下第7位を四捨五入し、第6位止め）。

$$\text{価格評価点} = \text{配分点} \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$$

配分点	特別簡易型（1：0.5）	・・・	120点
	特別簡易型【実績育成タイプ】（1：0.3）	・・・	120点
	簡易型（1：1）	・・・	60点
	標準型（1：2）	・・・	30点
	//（1：3）	・・・	20点

- ② 本市が定めた技術提案等を入札参加者に求め、あらかじめ設定した落札者決定基準に基づいて審査・評価を行い、技術評価点（最高60点）を算出します。
ただし、特別簡易型【実績育成タイプ】の技術評価点は、最高36点とします。
- ③ ①と②で算出された技術評価点と価格評価点を合計して得られた数値（評価値）の最も高いものを落札者とします。

$$\text{評価値} = \text{価格評価点} + \text{技術評価点}$$

表－1 落札者決定基準（簡易型・標準型）

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点			
			簡易型	標準型		
			1：1	1：2	1：3	
企業の経験及び能力	企業の保有する技術職員の状況	当該業務に関する技術者を有している。	1.5	1.5	1.5	
		当該業務に関する技術者を有していない。	0	0	0	
	企業の同種又は類似業務の実績	過去5年間に同種業務の実績を3件有する場合	7.5	3.5	1.5	
		過去5年間に同種業務の実績を2件有する場合	5	2.5	1	
		過去5年間に同種業務の実績を1件有する場合	2.5	1.5	0.5	
		過去5年間に類似業務の実績を3件有する場合	4.5	2	0.9	
		過去5年間に類似業務の実績を2件有する場合	3	1	0.6	
		過去5年間に類似業務の実績を1件有する場合	1.5	0.5	0.3	
	企業の同種又は類似業務の評定点	過去3カ年度間に本市発注の同種業務で80点以上の評定点を有する場合	7.5	6	3	
		過去3カ年度間に本市発注の同種業務で75点以上80点未満の評定点を有する場合	5	4	2	
		過去3カ年度間に本市発注の同種業務で70点以上75点未満の評定点を有する場合	2.5	2	1	
		過去3カ年度間に本市発注の同種業務で70点未満の評定点を有する場合	0	0	0	
		過去3カ年度間に本市発注の類似業務で80点以上の評定点を有する場合	4.5	3	1.5	
		過去3カ年度間に本市発注の類似業務で75点以上80点未満の評定点を有する場合	3	2	1	
		過去3カ年度間に本市発注の類似業務で70点以上75点未満の評定点を有する場合	1.5	1	0.5	
過去3カ年度間に本市発注の類似業務で70点未満の評定点を有する場合		0	0	0		
配置予定技術者の経験及び能力	配置予定技術者の資格	当該業務に適する資格を有している。	3	3	3	
		(上記に準じる資格を有している。)	(1.5)	(1.5)	(1.5)	
		当該業務に適する資格（又は準じる資格）を有していない。	0	0	0	
	配置予定技術者のCPD(S)実績	当該業務に適する資格（又は準じる資格）を有し、CPD(S)実績がある	1.5	1.5	1.5	
		上記以外	0	0	0	
	配置予定技術者の同種又は類似業務実績	過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を3件有する場合	9	4.5	4.5	
		過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を2件有する場合	6	3	3	
		過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を1件有する場合	3	1.5	1.5	
		過去5年間に同等又は同等以上の立場で類似業務の実績を3件有する場合	4.5	2.7	2.7	
		過去5年間に同等又は同等以上の立場で類似業務の実績を2件有する場合	3	1.8	1.8	
過去5年間に同等又は同等以上の立場で類似業務の実績を1件有する場合	1.5	0.9	0.9			
実施体制	業務実施体制の妥当性 (協力会社との関係)	次の項目に該当する場合は欠格とする ・主たる業務の部分を他のものに再委託する予定としている ・業務の分担構成が不明確又は不自然な場合 ・一の分担業務を複数の構成員が実施することとしている場合	欠格	欠格	欠格	
		経験及び能力 計	30	20	15	
実施方針	実施方針の妥当性	取組み体制の充実度	取組み体制が適切であり、重要な項目が記載されている。	9	5	3
			取組み体制が適切である。	4	2	1
		一般的な取組み体制である。	0	0	0	
		不適切である。	欠格	欠格	欠格	
	業務実施上配慮すべき事項の把握	業務実施上配慮すべき事項が適切であり、重要な項目が記載されている。	12	8	7	
		配慮すべき事項が適切である。	6	4	3	
		一般的な事項のみの記載である。	0	0	0	
		不適切である。	欠格	欠格	欠格	
	工程計画の妥当性	課題を的確に捉え、工程計画が適切であり、工程上重要な項目が記載されている。	9	5	3	
		工程計画が適切である。	4	2	1	
一般的な工程計画である。		0	0	0		
不適切である。		欠格	欠格	欠格		
評価テーマに対する技術提案	評価テーマ1	技術提案の的確性	与条件との整合性が高く、重要な事項が記載されている。	—	11	8
			与条件との整合性が認められ、記載内容が適切である。	—	5	4
		一般的な事項のみの記載である。	—	0	0	
		不適切である。	—	欠格	欠格	
	技術提案の実現性	提案内容の実現性に対し説得力があり、重要な事項が記載されている。	—	11	8	
		提案内容の実現性に対する記載が適切である。	—	5	4	
		一般的な事項のみの記載である。	—	0	0	
		不適切である。	—	欠格	欠格	
評価テーマ2	的確性	上記 評価テーマ1 同様	—	—	8	
	実現性	上記 評価テーマ1 同様	—	—	8	
実施方針及び技術提案 計			30	40	45	
合 計			60	60	60	

注意事項（簡易型・標準型）

※「当該業務に関する技術者」、「当該業務に適する資格（準じる資格）」は実施要領書のとおりとします。ただし、「準じる資格」は設定されない場合もあります。

※配置予定技術者は最大3名とし、実施要領書のとおりとします。また、資格、CPD(S)実績及び業務実績の配点は、配置人数により按分とします。

※同種・類似業務実績件数は最大3件とし、過去5年間（公告日から遡って5年間）に国、地方公共団体、地方道路公社、法人税法第2条第5号により規定される公共法人のうち国立大学法人・大学共同利用機関法人・独立行政法人・日本下水道事業団及び「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律施行令第1条」に規定する法人から元請けとして受注し、完了した契約金額500万円以上の業務実績とします。

※同種・類似業務の評定点は、元請けとして過去3カ年度間（公告日の属する年度を除く直近の過去3カ年度間）に完成した、本市発注の契約金額500万円以上の同種・類似業務1件を評価します。本市発注には、千葉市都市整備公社、千葉市住宅供給公社及び千葉市水道局の発注を含みます。

※配置予定技術者の業務実績の同等又は同等以上とは次の例によるものとし、最大3件までとします。

管理技術者	・・・(同等)	管理技術者・主任技術者
主任技術者	・・・(同等)	主任技術者・管理技術者
主任担当技術者	・・・(同等以上)	主任技術者・主任担当技術者・管理技術者
照査技術者	・・・(同等以上)	管理技術者・主任技術者・照査技術者
担当技術者	・・・(同等以上)	管理技術者・主任技術者・照査技術者・担当技術者

※CPD(S)実績とは、Continuing Professional Development (System)制度に基づく実績であり、本市が認定した運営団体の証明する過去1カ年度の実績のみを評価します。

※技術評価点は整数とし、小数点以下は切捨てとします。

【配置予定技術者の配点按分例】・・・簡易型（1：1）の場合

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点					
			配置予定技術者の人数					
			3名	2名	1名			
配置予定技術者の経験及び能力	配置予定技術者の資格	○○技術者	当該業務に適する資格を有している。	1	1.5	3		
			上記に準じる資格を有している。	0.5	0.75	1.5		
			当該業務に適する資格又は準じる資格を有していない。	0	0	0		
		△△技術者	当該業務に適する資格を有している。	1	1.5	/		
			上記に準じる資格を有している。	0.5	0.75			
			当該業務に適する資格又は準じる資格を有していない。	0	0			
		□□技術者	当該業務に適する資格を有している。	1	/			
			上記に準じる資格を有している。	0.5				
			当該業務に適する資格又は準じる資格を有していない。	0				
	配置予定技術者のCPD(S)実績	○○技術者	当該業務に適する資格又は準じる資格を有し、CPD(S)実績がある	0.5			0.75	1.5
			上記以外	0			0	0
		△△技術者	当該業務に適する資格又は準じる資格を有し、CPD(S)実績がある	0.5			0.75	/
			上記以外	0		0		
		□□技術者	当該業務に適する資格又は準じる資格を有し、CPD(S)実績がある	0.5		/		
			上記以外	0				
	配置予定技術者の同種又は類似業務実績	○○技術者	過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を3件有する場合	3	4.5		9	
			過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を2件有する場合	2	3		6	
			過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を1件有する場合	1	1.5		3	
			過去5年間に同等又は同等以上の立場で類似業務の実績を3件有する場合	1.5	2.25		4.5	
			過去5年間に同等又は同等以上の立場で類似業務の実績を2件有する場合	1	1.5	3		
			過去5年間に同等又は同等以上の立場で類似業務の実績を1件有する場合	0.5	0.75	1.5		
		△△技術者	過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を3件有する場合	3	4.5	/		
			過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を2件有する場合	2	3			
			過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を1件有する場合	1	1.5			
			過去5年間に同等又は同等以上の立場で類似業務の実績を3件有する場合	1.5	2.25			
			過去5年間に同等又は同等以上の立場で類似業務の実績を2件有する場合	1	1.5			
			過去5年間に同等又は同等以上の立場で類似業務の実績を1件有する場合	0.5	0.75			
□□技術者		過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を3件有する場合	3	/				
		過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を2件有する場合	2					
		過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を1件有する場合	1					
		過去5年間に同等又は同等以上の立場で類似業務の実績を3件有する場合	1.5					
		過去5年間に同等又は同等以上の立場で類似業務の実績を2件有する場合	1					
		過去5年間に同等又は同等以上の立場で類似業務の実績を1件有する場合	0.5					
配置予定技術者の経験及び能力の合計(最高点)			13.5		13.5		13.5	

表一 2 落札者決定基準（特別簡易型）

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点	
			1 : 0.5	
企業の経験及び能力	企業の保有する技術職員の状況	当該業務に関する技術者を有している。	3	
		当該業務に関する技術者を有していない。	0	
	企業の同種業務の実績	過去5年間に同種業務の実績を3件有する場合	9	
		過去5年間に同種業務の実績を2件有する場合	6	
		過去5年間に同種業務の実績を1件有する場合	3	
		過去5年間に同種業務の実績を有しない場合	0	
	企業の同種業務における成績評定点の平均点	過去2カ年度間における本市発注の同種業務の平均点が75点以上	15	
		過去2カ年度間における本市発注の同種業務の平均点が70点以上75点未満の場合	12	
		過去2カ年度間における本市発注の同種業務の平均点が65点以上70点未満の場合	9	
		過去2カ年度間における本市発注の同種業務の平均点が60点以上65点未満の場合	6	
		過去2カ年度間における本市発注の同種業務の平均点が55点以上60点未満の場合	3	
		過去2カ年度間における本市発注の同種業務の平均点が55点未満の場合	0	
		実績なし	0	
配置予定技術者の経験及び能力	配置予定技術者の資格	当該業務に適する資格を有している。	6	
		(上記に準じる資格を有している。)	(3.0)	
		当該業務に適する資格(又は準じる資格)を有していない。	0	
	配置予定技術者のCPD(S)実績	当該業務に適する資格(又は準じる資格)を有し、CPD(S)実績がある	6	
		上記以外	0	
	配置予定技術者の同種業務実績	過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を3件有する場合	9	
		過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を2件有する場合	6	
		過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を1件有する場合	3	
		実績なし	0	
	企業の社会性・信頼性	不誠実な行為	該当なし	0
過去2年間に本市発注委託に係る指名停止措置を受けている。			指名停止月数 × (-1) 累計	
災害等協力者名簿の登載		千葉県災害等協力者名簿等に登載がある。	3	
		千葉県災害等協力者名簿等に登載がない。	0	
災害活動・ボランティア活動の実績		過去1カ年度間に本市において、災害活動またはボランティア活動の実績を3件有する場合	9	
		過去1カ年度間に本市において、災害活動またはボランティア活動の実績を2件有する場合	6	
		過去1カ年度間に本市において、災害活動またはボランティア活動の実績を1件有する場合	3	
		実績なし	0	
計			60	

注意事項（特別簡易型）

※「当該業務に関する技術者」、「当該業務に適する資格（準じる資格）」は実施要領書のとおりとします。ただし、「準じる資格」は設定されない場合もあります。

※配置予定技術者は最大3名とし、実施要領書のとおりとします。また、資格、CPD(S)実績及び業務実績の配点は、配置人数により按分とします。

※同種業務実績件数は最大3件とし、過去5年間（公告日から遡って5年間）に国、地方公共団体、地方道路公社、法人税法第2条第5号により規定される公共法人のうち国立大学法人・大学共同利用機関法人・独立行政法人・日本下水道事業団及び「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律施行令第1条」に規定する法人から元請けとして受注し、完了した契約金額100万円以上の業務実績とします。

※同種業務の評定点は、元請けとして過去2カ年度間（公告日の属する年度を除く直近の過去2カ年度間）に完成した、本市発注における契約金額100万円以上の同種業務全ての委託成績評定点の平均点を評価します。本市発注には、千葉市都市整備公社、千葉市住宅供給公社及び千葉市水道局の発注を含みます。

※配置予定技術者の業務実績の同等又は同等以上とは次の例によるものとし、最大3件までとします。

管理技術者	・・・(同等)	管理技術者・主任技術者
主任技術者	・・・(同等)	主任技術者・管理技術者
主任担当技術者	・・・(同等以上)	主任技術者・主任担当技術者・管理技術者
照査技術者	・・・(同等以上)	管理技術者・主任技術者・照査技術者
担当技術者	・・・(同等以上)	管理技術者・主任技術者・照査技術者・担当技術者

※CPD(S)実績とは、Continuing Professional Development (System)制度に基づく実績であり、本市が認定した運営団体の証明する過去1カ年度の実績のみを評価します。

※技術評価点は整数とし、小数点以下は切捨てとします。

【配置予定技術者の配点按分例】・・・特別簡易型の場合

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点			
			配置予定技術者の人数			
			3名	2名	1名	
配置予定技術者の経験及び能力	配置予定技術者の資格	○○技術者	当該業務に適する資格を有している。	2	3	6
			上記に準じる資格を有している。	1	1.5	3
			当該業務に適する資格又は準じる資格を有していない。	0	0	0
		△△技術者	当該業務に適する資格を有している。	2	3	/
			上記に準じる資格を有している。	1	1.5	
			当該業務に適する資格又は準じる資格を有していない。	0	0	
		□□技術者	当該業務に適する資格を有している。	2	/	/
			上記に準じる資格を有している。	1		
			当該業務に適する資格又は準じる資格を有していない。	0		
	配置予定技術者のCPD(S)実績	○○技術者	当該業務に適する資格又は準じる資格を有し、CPD(S)実績がある	2	3	6
			上記以外	0	0	0
		△△技術者	当該業務に適する資格又は準じる資格を有し、CPD(S)実績がある	2	3	/
			上記以外	0	0	
		□□技術者	当該業務に適する資格又は準じる資格を有し、CPD(S)実績がある	2	/	/
			上記以外	0		
	配置予定技術者の同種業務実績	○○技術者	過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を3件有する場合	3	4.5	9
			過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を2件有する場合	2	3	6
			過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を1件有する場合	1	1.5	3
			実績なし	0	0	0
		△△技術者	過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を3件有する場合	3	4.5	/
			過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を2件有する場合	2	3	
			過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を1件有する場合	1	1.5	
			実績なし	0	0	
		□□技術者	過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を3件有する場合	3	/	/
過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を2件有する場合			2			
過去5年間に同等又は同等以上の立場で同種業務の実績を1件有する場合			1			
実績なし			0			
配置予定技術者の経験及び能力の合計(最高点)			21	21	21	

表一 3 落札者決定基準（特別簡易型【実績育成タイプ】）

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点
			1 : 0.3
企業の経験及び能力	企業の保有する技術職員の状況	当該業務に関する技術者を有している。	4
		当該業務に関する技術者を有していない。	0
	企業の同種業務における成績評定点の平均点	過去2カ年度間における本市発注の同種業務の平均点が75点以上	5
		過去2カ年度間における本市発注の同種業務の平均点が70点以上75点未満の場合	4
		過去2カ年度間における本市発注の同種業務の平均点が65点以上70点未満の場合	3
		過去2カ年度間における本市発注の同種業務の平均点が60点以上65点未満の場合	2
		過去2カ年度間における本市発注の同種業務の平均点が55点以上60点未満の場合	1
		過去2カ年度間における本市発注の同種業務の平均点が55点未満の場合	0
実績なし	0		
配置予定及び技術者の経験	配置予定技術者の資格	当該業務に適する資格、又は入札参加資格要件で定められている実務経験を有している。	6
		(上記に準じる資格を有している。)	(3.0)
		当該業務に適する資格(又は準じる資格)を有していない。	0
	配置予定技術者のCPD(S)実績	配置予定技術者の資格で設定する資格等を有し、CPD(S)実績がある	9
上記以外		0	
企業の社会性・信頼性	不誠実な行為	該当なし	0
		過去2年間に本市発注委託に係る指名停止措置を受けている。	指名停止月数 × (-1) 累計
	災害等協力者名簿の登載	千葉県災害等協力者名簿等に登載がある。	3
		千葉県災害等協力者名簿等に登載がない。	0
	災害活動・ボランティア活動の実績	過去1カ年度間に本市において、災害活動またはボランティア活動の実績を3件有する場合	9
		過去1カ年度間に本市において、災害活動またはボランティア活動の実績を2件有する場合	6
		過去1カ年度間に本市において、災害活動またはボランティア活動の実績を1件有する場合	3
実績なし		0	
計			36

注意事項（特別簡易型【実績育成タイプ】）

※「当該業務に関する技術者」、「当該業務に適する資格（準じる資格）」は実施要領書のとおりとします。ただし、「準じる資格」は設定されない場合もあります。

※配置予定技術者は最大3名とし、実施要領書のとおりとします。また、資格、CPD(S)実績の配点は、配置人数により按分とします。

※同種業務の評定点は、元請けとして過去2カ年度間（公告日の属する年度を除く直近の過去2カ年度間）に完成した、本市発注における契約金額100万円以上の同種業務全ての委託成績評定点の平均点を評価します。本市発注には、千葉市都市整備公社、千葉市住宅供給公社及び千葉市水道局の発注を含みません。

※CPD(S)実績とは、Continuing Professional Development (System)制度に基づく実績であり、本市が認定した運営団体の証明する過去1カ年度の実績のみを評価します。

※技術評価点は整数とし、小数点以下は切捨てとします。

【配置予定技術者の配点按分例】・・・特別簡易型【実績育成タイプ】の場合

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点			
			配置予定技術者の人数			
			3名	2名	1名	
配置予定技術者の経験及び能力	配置予定技術者の資格	○○技術者	当該業務に適する資格を有している。	2	3	6
			上記に準じる資格を有している。	1	1.5	3
			当該業務に適する資格又は準じる資格を有していない。	0	0	0
		△△技術者	当該業務に適する資格を有している。	2	3	/
			上記に準じる資格を有している。	1	1.5	
			当該業務に適する資格又は準じる資格を有していない。	0	0	
	□□技術者	当該業務に適する資格を有している。	2	/	/	
		上記に準じる資格を有している。	1			
		当該業務に適する資格又は準じる資格を有していない。	0			
	配置予定技術者のCPD(S)実績	○○技術者	当該業務に適する資格又は準じる資格を有し、CPD(S)実績がある	3	4.5	9
			上記以外	0	0	0
		△△技術者	当該業務に適する資格又は準じる資格を有し、CPD(S)実績がある	3	4.5	/
上記以外			0	0		
□□技術者		当該業務に適する資格又は準じる資格を有し、CPD(S)実績がある	3	/	/	
		上記以外	0			
配置予定技術者の経験及び能力の合計(最高点)			15	15	15	

(5) 技術提案の評価方法の考え方

① 評価方法

- ア 原則として、提案が、共通仕様書、法令及び各種指針、便覧、仕様書並びに各種基準に規定されている内容（本来、それにより行わなければならないとされている基準、規定等）の場合は、評価の対象としません。（標準案とし、“0点”とします。）
- イ 仮定に基づく提案の場合は、評価の対象としません。
（例 〇〇〇の場合は、〇〇〇します。 〇〇〇になったら、〇〇〇します）

② 欠格とする場合の要件

- ア 評価項目に対する提案資料が未記入及び未提出の場合。
- イ 求めた評価項目と違う提案をした場合。
- ウ 必要に応じて設定した最低限の要求要件を満たさない提案をした場合。
- エ 他者に資料を作成させるなど、不誠実な行為が明らかな場合。

③ 技術提案等の不備

- 提出された技術提案や添付資料に誤記や不備があった場合、関係する評価項目については、得点を与えません。
（例 決められたページ数を逸脱している。 対象外の実績が記載されている。 など）

(6) ペナルティについて

①不履行時のペナルティ

受注者が入札時に提示した技術提案等は、すべて契約内容となるため、発注者は落札者の技術提案内容について確認し、技術提案等が履行できなかった場合には、受発注者間において責任の所在を協議し、受注者の責である場合は、当該業務の評定点から5点を減じることとします。

なお、技術提案等提出書に記載された配置予定技術者と実際に業務を遂行する技術者が異なる場合は、技術者毎に当該業務の評定点から5点ずつ減じることとします。

ただし、病気・退職等で職務遂行が不能であるといったやむを得ない理由の場合は除きます。

②技術提案等の虚偽等に対するペナルティ

虚偽による技術提案等の提示等、入札参加者に明らかに悪質な行為があった場合は、千葉市の規定に基づき、当該入札参加者に対し指名停止措置等を行うものとする。

3 千葉市総合評価落札方式（業務委託）様式

（1）簡易型・標準型

別記様式第1号	技術提案等提出書（簡易型・標準型）
別記様式第2号	企業の保有する技術職員の状況
別記様式第3号	企業の同種又は類似業務の実績
別記様式第4号	企業の同種又は類似業務の評定点
別記様式第5号	配置予定技術者の経験及び能力等
別記様式第6号	業務実施体制の妥当性（協力会社との関係）
別記様式第7号	業務の実施方針
別記様式第8号	工程計画
別記様式第9号	評価テーマに対する技術提案

(あて先) 千葉市長 熊谷俊人様

所在地
商号又は名称
代表者職氏名技術提案等提出書
(簡易型・標準型)

技術提案等に関する資料を以下のとおり提出します。なお、資料の内容については事実と相違ないことを誓約します。

委託名 _____

評価項目	提出書類	別記様式	チェック欄
企業の経験及び能力	企業の保有する技術職員の状況	第2号	<input type="checkbox"/>
	企業の同種又は類似業務の実績	第3号	<input type="checkbox"/>
	企業の同種又は類似業務の評定点	第4号	<input type="checkbox"/>
配置予定技術者の経験及び能力	配置予定技術者の経験及び能力等 ()	第5号	<input type="checkbox"/>
	配置予定技術者の経験及び能力等 ()	第5号	<input type="checkbox"/>
	配置予定技術者の経験及び能力等 ()	第5号	<input type="checkbox"/>
実施体制	業務実施体制の妥当性 (協力会社との関係)	第6号	<input type="checkbox"/>
実施方針	業務の実施方針	第7号	<input type="checkbox"/>
	工程計画	第8号	<input type="checkbox"/>
評価テーマ	評価テーマに対する技術提案	第9号	<input type="checkbox"/>

※ チェック欄については、提出するものについて塗りつぶすこと。

※ 代表者印を押印する必要はありませんが、不正があった時には責任を負えません。

連絡先

担当者名 _____

電話番号 _____

FAX 番号 _____

e-mail _____

(用紙 A4)

業務名	会社名		
担当者氏名			
TEL		FAX	
企業の保有する技術職員の状況			
区分	資 格	人 数(人)	合 計(人)
その他の技術職員			
<p>備考</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 複数分野を担当する職員については、最も専門とする分野に記入してください。 2 複数の資格を有する職員については、いずれか一つの資格保有者として取り扱います。 3 記入内容を証明する書類は以下を添付してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・土木関係建設コンサルタント業務 ・建築関係建設コンサルタント業務 ・地質調査業務 <div style="margin-left: 60px;"> <p>：建設コンサルタント現況報告書（国土交通省）、地質調査業者現況報告書（国土交通省）の写し又は技術士登録証や一級建築士免許証等の資格証明書の写し</p> <p>※技術士等の資格証明書の写しを添付する場合は、代表1名の書類の提出で構いません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量業務 <p>：測量業者登録証明願の写し等</p> </div>			
記入内容を証明する資料			

企業の同種又は類似業務の実績				
業務名	発注者	契約金額 (千円)	履行期間	業務概要
(同種・類似)				
(同種・類似)				
(同種・類似)				
備考 1 同種・類似業務実績件数は最大3件とし、過去5年間（公告日から遡って5年間）に完了した契約金額500万円以上の業務実績を記入してください。 2 業務名欄に、「同種」又は「類似」の別を明示してください。 3 記入内容を証明する書類（契約書の写し、テクリス登録の写し又はPUBDIS登録の写し等）を添付してください。 4 実績がない場合、本書を提出する必要はありません。				

記入内容を証明する資料	
-------------	--

企業の同種又は類似業務の評定点	
同種業務	
類似業務	
業務名	
同種又は類似の別	同 種 ・ 類 似
委託箇所	
契約金額	
業務概要	
評定点	
<p>備考</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 過去3カ年度間（公告日の属する年度を除く直近の過去3カ年度間）に完了した、本市発注の契約金額500万円以上の業務の評定点を記入してください。 2 業務名欄に、「同種」又は「類似」の別を明示してください。 3 記入内容を証明する書類（委託業務認定通知書等）を添付してください。 4 実績がない場合、本書を提出する必要はありません。 	
記入内容を証明する資料	

(用紙 A4)

配置予定技術者の経験及び能力等（ 技術者）				
氏 名		生年月日		
所持資格 (登録番号)		取得年月日		
CPD(S)実績	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	運営団体		
業務実績				
年度	業務名	発注者	立場	業務概要
<p>備考</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 同種・類似業務実績件数は最大3件とし、過去5年間（公告日から遡って5年間）に完了した契約金額500万円以上の業務実績を記入してください。 2 業務実績の業務名には、（同種）または（類似）を付記してください。 3 業務実績について、業務従事時における技術者の所属会社先は問いません。 4 記入内容を証明する書類（技術士登録等証明書の写し、RCCM登録証の写し、建築士登録書の写し、テクリス登録の写し、PUBDIS登録の写し、CPD（S）実績証明書の写し及び業務名や配置予定技術者の立場が明確に判断できる書類等）を添付してください。 				

記入内容を証明する資料	
-------------	--

業務実施体制の妥当性（協力会社との関係）		
1	協力会社名	
	住所	
	代表者	
	同種・類似 業務実績 (業務名)	
	本業務に関わる 担当予定者数	
協力を受ける内容		
2	協力会社名	
	住所	
	代表者	
	同種・類似 業務実績 (業務名)	
	本業務に関わる 担当予定者数	
協力を受ける内容		
備考		
1 協力会社がある場合に記入する。		
2 協力会社がない場合、本書を提出する必要はありません。		

(用紙 A4)

業務の実施方針

業務方針は、業務への取組み体制、業務実施上配慮すべき事項等を簡潔に記述する

(用紙 A4 ○枚まで)

工程計画

	月			月			月			月			月			月		
業務区分																		
<重要・配慮すべき事項>																		

(用紙 A4)

〇〇に対する技術提案

提案は基本的な考え方を簡潔に記載してください。文章を補充するための最小限の写真、イラスト、イメージ図等は使用してもかまいません

(用紙 A4 ○枚まで)

(2) 特別簡易型

別記様式第 1 1 号	技術提案等提出書 (特別簡易型)
別記様式第 1 2 号	企業の保有する技術職員の状況
別記様式第 1 3 号	企業の同種業務の実績
別記様式第 1 4 号	企業の同種業務における成績評定点の平均点
別記様式第 1 5 号	配置予定技術者の経験及び能力等
別記様式第 1 6 号	千葉県災害等協力者名簿の登載 災害活動・ボランティア活動の実績

(あて先) 千葉市長 熊谷俊人様

所在地
商号又は名称
代表者職氏名技術提案等提出書
(特別簡易型)

技術提案等に関する資料を以下のとおり提出します。なお、資料の内容については事実と相違ないことを誓約します。

委託名

評価項目	提出書類	別記様式	チェック欄
企業の経験及び能力	企業の保有する技術職員の状況	第12号	<input type="checkbox"/>
	企業の同種業務の実績	第13号	<input type="checkbox"/>
	企業の同種業務における成績評定点の平均点	第14号	<input type="checkbox"/>
配置予定技術者の経験及び能力	配置予定技術者の経験及び能力等 ()	第15号	<input type="checkbox"/>
	配置予定技術者の経験及び能力等 ()	第15号	<input type="checkbox"/>
	配置予定技術者の経験及び能力等 ()	第15号	<input type="checkbox"/>
企業の社会性・信頼性	千葉市災害協力者名簿の登載	第16号	<input type="checkbox"/>
	災害活動・ボランティア活動の実績	第16号	<input type="checkbox"/>

(基礎点制度実績通知書の添付有無 有 無)

- ※ チェック欄については、提出するものについて塗りつぶすこと。
- ※ 「基礎点制度実績通知書」の交付を受けた方は、本書に基礎点制度実績通知書の写しを必ず添付すること。その場合、基礎点制度の対象となる評価項目「千葉市災害協力者名簿の登載」、「災害活動・ボランティア活動の実績」における別記様式及び添付資料は、一切提出不要とする。ただし、「企業の同種業務における成績評定点の平均点」については、実施要領書に記載の同種業務と「基礎点制度実績通知書」の業務が異なる場合や、実施要領書に業務の詳細な条件等を設定している案件の場合は、基礎点制度実績通知書を提出している場合においても、別記様式及び添付資料を提出すること。
- ※ 代表者印を押印する必要はありませんが、不正があった時には責任を負えません。

連絡先

担当者名

電話番号

FAX 番号

e-mail

(用紙 A4)

業務名	会社名
-----	-----

企業の保有する技術職員の状況												
区分	資格	人数(人)	合計(人)									
その他の技術職員												
<p>備考</p> <p>1 複数分野を担当する職員については、最も専門とする分野に記入してください。</p> <p>2 複数の資格を有する職員については、いずれか一つの資格保有者として取り扱います。</p> <p>3 記入内容を証明する書類は以下を添付してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 40%; border: none;"> <ul style="list-style-type: none"> ・土木関係建設コンサルタント業務 ・建築関係建設コンサルタント業務 ・地質調査業務 </td> <td style="width: 5%; border: none; text-align: center;">}</td> <td style="width: 55%; border: none;"> : 建設コンサルタント現況報告書(国土交通省)、地質調査業者現況報告書(国土交通省)の写し又は技術士登録証や一級建築士免許証等の資格証明書の写し </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="border: none;"> ※技術士等の資格証明書の写しを添付する場合は、代表1名の書類の提出で構いません。 </td> </tr> <tr> <td style="border: none;"> <ul style="list-style-type: none"> ・測量業務 </td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"> : 測量業者登録証明願の写し等 </td> </tr> </table>				<ul style="list-style-type: none"> ・土木関係建設コンサルタント業務 ・建築関係建設コンサルタント業務 ・地質調査業務 	}	: 建設コンサルタント現況報告書(国土交通省)、地質調査業者現況報告書(国土交通省)の写し又は技術士登録証や一級建築士免許証等の資格証明書の写し	※技術士等の資格証明書の写しを添付する場合は、代表1名の書類の提出で構いません。			<ul style="list-style-type: none"> ・測量業務 		: 測量業者登録証明願の写し等
<ul style="list-style-type: none"> ・土木関係建設コンサルタント業務 ・建築関係建設コンサルタント業務 ・地質調査業務 	}	: 建設コンサルタント現況報告書(国土交通省)、地質調査業者現況報告書(国土交通省)の写し又は技術士登録証や一級建築士免許証等の資格証明書の写し										
※技術士等の資格証明書の写しを添付する場合は、代表1名の書類の提出で構いません。												
<ul style="list-style-type: none"> ・測量業務 		: 測量業者登録証明願の写し等										

記入内容を証明する資料	
-------------	--

業務名	会社名
-----	-----

企業の同種業務の実績				
業務名	発注者	契約金額 (千円)	履行期間	業務概要

備考

- 1 同種業務実績件数は最大3件とし、過去5年間（公告日から遡って5年間）に完了した契約金額100万円以上の業務実績を記入してください。
- 2 記入内容を証明する書類（契約書の写し、テクリス登録の写し又はPUBDIS登録の写し等）を添付してください。
- 3 実績がない場合、本書を提出する必要はありません。

記入内容を証明する資料	
-------------	--

業務名	会社名
-----	-----

企業の同種業務における成績評定点の平均点	
同種業務	
成績評定点の平均点	

	委 託 名	成績評定点
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

備考

- 1 過去2カ年度間（公告日の属する年度を除く直近の過去2カ年度間）に完了した、本委託と同種業務に係る契約金額100万円以上の本市発注の全ての委託について、委託名及び成績評定点を記入してください。
- 2 「同種業務」の欄には、実施要領書に定める業務を記入して下さい。
- 3 工事成績評定の平均点は、小数点第2位を四捨五入とし、小数点第1位表示としてください。
- 4 実績がない場合、本書を提出する必要はありません。

記入内容を証明する資料	
-------------	--

業務名	会社名
-----	-----

配置予定技術者の経験及び能力等 ()				
氏名		生年月日		
所持資格 (登録番号)		取得年月日		
CPD(S)実績	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	運営団体		
業務実績				
年度	業務名	発注者	立場	業務概要
備考				
1 同種業務実績件数は最大3件とし、過去5年間（公告日から遡って5年間）に完了した契約金額100万円以上の業務実績を記入してください。 2 業務実績について、業務従事時における技術者の所属会社先は問いません。 3 記入内容を証明する書類（技術士登録等証明書の写し、RCCM登録証の写し、建築士登録書の写し、テクリス登録の写し、PUBDIS登録の写し、CPD(S)実績証明書の写し及び業務名や配置予定技術者の立場が明確に判断できる書類等）を添付してください。				

記入内容を証明する資料	
-------------	--

業務名	会社名
-----	-----

該当する箇所を■に塗りつぶすこと。

千葉市災害等協力者名簿の登載

千葉市災害等協力者名簿の登載有無	<input type="checkbox"/> 登載有 ・ <input type="checkbox"/> 登載無 (添付資料は不要)
------------------	---

備考

- 入札公告年度の4月1日時点において「千葉市建設コンサルタント協会」、「社団法人千葉県測量設計業協会中央地区」、「千葉市地質調査業協会」のいずれかの協力者名簿に登載されていること。
- 上記以外で千葉市と災害に関する協定を締結しており、その協定の協力者である場合は、技術提案書を提出する前に技術管理課に確認すること。

災害活動・ボランティア活動の実績

活動内容	<input type="checkbox"/> 災害活動 【添付資料】 <input type="checkbox"/> 災害活動証明書の写し 活動内容 ()	
	<input type="checkbox"/> ボランティア活動 【添付資料】 <input type="checkbox"/> ①ボランティア活動募集文書 <input type="checkbox"/> ②参加証明書又は新聞記事等 <input type="checkbox"/> ③活動写真 活動内容 ()	
活動日・活動場所	平成 年 月 日	区 町
活動内容	<input type="checkbox"/> 災害活動 【添付資料】 <input type="checkbox"/> 災害活動証明書の写し 活動内容 ()	
	<input type="checkbox"/> ボランティア活動 【添付資料】 <input type="checkbox"/> ①ボランティア活動募集文書 <input type="checkbox"/> ②参加証明書又は新聞記事等 <input type="checkbox"/> ③活動写真 活動内容 ()	
活動日・活動場所	平成 年 月 日	区 町
活動内容	<input type="checkbox"/> 災害活動 【添付資料】 <input type="checkbox"/> 災害活動証明書の写し 活動内容 ()	
	<input type="checkbox"/> ボランティア活動 【添付資料】 <input type="checkbox"/> ①ボランティア活動募集文書 <input type="checkbox"/> ②参加証明書又は新聞記事等 <input type="checkbox"/> ③活動写真 活動内容 ()	
活動日・活動場所	平成 年 月 日	区 町

備考

- 災害活動とは、過去1ヵ年度間に千葉市と協会等が締結する防災協定等に基づく活動実績のことです。
活動実績を有する場合は、該当する活動内容を塗りつぶし、必要事項を記載の上、協会等が発行する出勤証明書等の写しを添付して下さい。
- ボランティア活動とは、過去1ヵ年度間に千葉市内の公共の場において、会社として行った活動のことです。
活動の実績について記載し、以下に示す資料(①②③全て)を添付してください。
 <添付資料>※①②③全てが実績を証明する添付資料となりますので、提出がない場合は評価されませんのでご注意ください。
 ①ボランティア活動募集文書(自治会等清掃の場合は回覧文書)
 ②参加証明書(主催団体からの参加証明書)又は新聞記事、不特定多数が閲覧可能な主催団体が開設しているホームページの写し、機関誌等での参加会社名が確認可能な資料(作業状況写真のみでの確認は除く)
 ③活動写真(会社の参加者のみでなく、活動全体の概要が把握可能な写真3枚程度)
 ただし、主催団体(責任者)が活動実績を証明する文書等について、実績の確認が困難な場合及び活動実績の証明者が、主催団体等の団体ではなく、個人による証明の場合は、評価しません。
- ボランティア活動として認められない活動とは、千葉市内の公共の場以外での活動や会社の主・共催又は協賛(業界団体等が主・共催又は協賛する場合を除く)、寄付行為及び社員個人による活動のことです。
- 災害活動またはボランティア活動を最大3つまで提案することができます。(組み合わせは自由です。例えば、ボランティア活動を3つ提案することも可能です。)

記入内容を証明する資料	
-------------	--

(用紙 A4)

(3) 特別簡易型【実績育成タイプ】

別記様式第17号 技術提案等提出書（特別簡易型【実績育成タイプ】）

別記様式第18号 企業の保有する技術職員の状況

別記様式第19号 企業の同種業務における成績評定点の平均点

別記様式第20号 配置予定技術者の経験及び能力等

別記様式第21号 千葉県災害等協力者名簿の登載
災害活動・ボランティア活動の実績

(あて先) 千葉市長 熊谷俊人様

所在地
商号又は名称
代表者職氏名技術提案等提出書
(特別簡易型【実績育成タイプ】)

技術提案等に関する資料を以下のとおり提出します。なお、資料の内容については事実と相違ないことを誓約します。

委託名

評価項目	提出書類	別記様式	チェック欄
企業の経験及び能力	企業の保有する技術職員の状況	第18号	<input type="checkbox"/>
	企業の同種業務における成績評定点の平均点	第19号	<input type="checkbox"/>
配置予定技術者の経験及び能力	配置予定技術者の経験及び能力等 ()	第20号	<input type="checkbox"/>
	配置予定技術者の経験及び能力等 ()	第20号	<input type="checkbox"/>
	配置予定技術者の経験及び能力等 ()	第20号	<input type="checkbox"/>
企業の社会性・信頼性	千葉市災害協力者名簿の登載	第21号	<input type="checkbox"/>
	災害活動・ボランティア活動の実績	第21号	<input type="checkbox"/>

(基礎点制度実績通知書の添付有無 有 無)

- ※ チェック欄については、提出するものについて塗りつぶすこと。
- ※ 「基礎点制度実績通知書」の交付を受けた方は、本書に基礎点制度実績通知書の写しを必ず添付すること。その場合、基礎点制度の対象となる評価項目「千葉市災害協力者名簿の登載」、「災害活動・ボランティア活動の実績」における別記様式及び添付資料は、一切提出不要とする。ただし、「企業の同種業務における成績評定点の平均点」については、実施要領書に記載の同種業務と「基礎点制度実績通知書」の業務が異なる場合や、実施要領書に業務の詳細な条件等を設定している案件の場合は、基礎点制度実績通知書を提出している場合においても、別記様式及び添付資料を提出すること。
- ※ 代表者印を押印する必要はありませんが、不正があった時には責任を負えません。

連絡先

担当者名

電話番号

FAX 番号

e-mail

(用紙 A4)

業務名	会社名
-----	-----

企業の保有する技術職員の状況												
区分	資格	人数(人)	合計(人)									
その他の技術職員												
<p>備考</p> <p>1 複数分野を担当する職員については、最も専門とする分野に記入してください。</p> <p>2 複数の資格を有する職員については、いずれか一つの資格保有者として取り扱います。</p> <p>3 記入内容を証明する書類は以下を添付してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 40%; vertical-align: middle;"> <ul style="list-style-type: none"> ・土木関係建設コンサルタント業務 ・建築関係建設コンサルタント業務 ・地質調査業務 </td> <td style="width: 5%; vertical-align: middle; text-align: center;">}</td> <td style="width: 55%; vertical-align: middle;"> : 建設コンサルタント現況報告書(国土交通省)、地質調査業者現況報告書(国土交通省)の写し又は技術士登録証や一級建築士免許証等の資格証明書の写し </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">※技術士等の資格証明書の写しを添付する場合は、代表1名の書類の提出で構いません。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: bottom;"> <ul style="list-style-type: none"> ・測量業務 </td> <td style="vertical-align: bottom; text-align: center;">}</td> <td style="vertical-align: bottom;"> : 測量業者登録証明願の写し等 </td> </tr> </table>				<ul style="list-style-type: none"> ・土木関係建設コンサルタント業務 ・建築関係建設コンサルタント業務 ・地質調査業務 	}	: 建設コンサルタント現況報告書(国土交通省)、地質調査業者現況報告書(国土交通省)の写し又は技術士登録証や一級建築士免許証等の資格証明書の写し	※技術士等の資格証明書の写しを添付する場合は、代表1名の書類の提出で構いません。			<ul style="list-style-type: none"> ・測量業務 	}	: 測量業者登録証明願の写し等
<ul style="list-style-type: none"> ・土木関係建設コンサルタント業務 ・建築関係建設コンサルタント業務 ・地質調査業務 	}	: 建設コンサルタント現況報告書(国土交通省)、地質調査業者現況報告書(国土交通省)の写し又は技術士登録証や一級建築士免許証等の資格証明書の写し										
※技術士等の資格証明書の写しを添付する場合は、代表1名の書類の提出で構いません。												
<ul style="list-style-type: none"> ・測量業務 	}	: 測量業者登録証明願の写し等										

記入内容を証明する資料	
-------------	--

業務名	会社名
-----	-----

企業の同種業務における成績評定点の平均点	
同種業務	
成績評定点の平均点	

	委 託 名	成績評定点
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

備考

- 1 過去2カ年度間（公告日の属する年度を除く直近の過去2カ年度間）に完了した、本委託と同種業務に係る契約金額100万円以上の本市発注の全ての委託について、委託名及び成績評定点を記入してください。
- 2 「同種業務」の欄には、実施要領書に定める業務を記入して下さい。
- 3 工事成績評定の平均点は、小数点第2位を四捨五入とし、小数点第1位表示としてください。
- 4 実績がない場合、本書を提出する必要はありません。

記入内容を証明する資料	
-------------	--

業務名	会社名
-----	-----

配置予定技術者の経験及び能力等 ()			
氏名		生年月日	
所持資格 (登録番号)		取得年月日	
実務経験内容		実務経験年月数	計 年 月
CPD(S)実績	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	運営団体	
<p>備考</p> <p>1 記入内容を証明する書類（技術士登録等証明書の写し、RCCM登録証の写し、建築士登録書の写し、実務経験証明書の写し、CPD（S）実績証明書の写しを添付してください。</p>			

記入内容を証明する資料	
-------------	--

(用紙 A4)

業務名	会社名
-----	-----

該当する箇所を■に塗りつぶすこと。

千葉市災害等協力者名簿の登載

千葉市災害等協力者名簿の登載有無	<input type="checkbox"/> 登載有 ・ <input type="checkbox"/> 登載無 (添付資料は不要)
------------------	---

備考

- 入札公告年度の4月1日時点において「千葉市建設コンサルタント協会」、「社団法人千葉県測量設計業協会中央地区」、「千葉市地質調査業協会」のいずれかの協力者名簿に登載されていること。
- 上記以外で千葉市と災害に関する協定を締結しており、その協定の協力者である場合は、技術提案書を提出する前に技術管理課に確認すること。

災害活動・ボランティア活動の実績

活動内容	<input type="checkbox"/> 災害活動 【添付資料】 <input type="checkbox"/> 災害活動証明書の写し 活動内容 ()	
	<input type="checkbox"/> ボランティア活動 【添付資料】 <input type="checkbox"/> ①ボランティア活動募集文書 <input type="checkbox"/> ②参加証明書又は新聞記事等 <input type="checkbox"/> ③活動写真 活動内容 ()	
活動日・活動場所	平成 年 月 日	区 町
活動内容	<input type="checkbox"/> 災害活動 【添付資料】 <input type="checkbox"/> 災害活動証明書の写し 活動内容 ()	
	<input type="checkbox"/> ボランティア活動 【添付資料】 <input type="checkbox"/> ①ボランティア活動募集文書 <input type="checkbox"/> ②参加証明書又は新聞記事等 <input type="checkbox"/> ③活動写真 活動内容 ()	
活動日・活動場所	平成 年 月 日	区 町
活動内容	<input type="checkbox"/> 災害活動 【添付資料】 <input type="checkbox"/> 災害活動証明書の写し 活動内容 ()	
	<input type="checkbox"/> ボランティア活動 【添付資料】 <input type="checkbox"/> ①ボランティア活動募集文書 <input type="checkbox"/> ②参加証明書又は新聞記事等 <input type="checkbox"/> ③活動写真 活動内容 ()	
活動日・活動場所	平成 年 月 日	区 町

備考

- 災害活動とは、過去1ヵ年度間に千葉市と協会等が締結する防災協定等に基づく活動実績のことです。
活動実績を有する場合は、該当する活動内容を塗りつぶし、必要事項を記載の上、協会等が発行する出勤証明書等の写しを添付して下さい。
- ボランティア活動とは、過去1ヵ年度間に千葉市内の公共の場において、会社として行った活動のことです。
活動の実績について記載し、以下に示す資料(①②③全て)を添付してください。
 <添付資料>※①②③全てが実績を証明する添付資料となりますので、提出がない場合は評価されませんのでご注意ください。
 ①ボランティア活動募集文書(自治会等清掃の場合は回覧文書)
 ②参加証明書(主催団体からの参加証明書)又は新聞記事、不特定多数が閲覧可能な主催団体が開設しているホームページの写し、機関誌等での参加会社名が確認可能な資料(作業状況写真のみでの確認は除く)
 ③活動写真(会社の参加者のみでなく、活動全体の概要が把握可能な写真3枚程度)
 ただし、主催団体(責任者)が活動実績を証明する文書等について、実績の確認が困難な場合及び活動実績の証明者が、主催団体等の団体ではなく、個人による証明の場合は、評価しません。
- ボランティア活動として認められない活動とは、千葉市内の公共の場以外での活動や会社の主・共催又は協賛(業界団体等が主・共催又は協賛する場合を除く)、寄付行為及び社員個人による活動のことです。
- 災害活動またはボランティア活動を最大3つまで提案することができます。(組み合わせは自由です。例えば、ボランティア活動を3つ提案することも可能です。)

記入内容を証明する資料	
-------------	--

(用紙 A4)